

③「地下かんがい普及推進セミナー～地域農業の少し先を考える～」を開催

北海道石狩郡当別町

2月9日（金）、当別町において北海道石狩振興局（調整課・整備課・農務課・農業改良普及センター）は、農家戸数の減少を見据えた省力化農業技術の一つである地下かんがいの普及推進を図るため、「地下かんがい普及推進セミナー」を開催した。当日は、管内の農業者や地域関係団体職員など総勢76名が参加した。

本セミナーは3部形式で構成され、第1部では、平成27年度から平成29年度までの3年間は重点行動期間として位置づけて、当局が実施してきた地下かんがい普及推進の背景や取組の概要、設置したモデルほ場の試験結果や収量調査結果などについて報告を行った。



地下かんがいモデルほ場における
土壌水分量と地下水位の測定状況

第2部では、「地域農業の少し先を考える」と題し、地域農業者、新篠津村農業協同組合職員、農業改良普及センター職員から成るパネリスト4名に加え、アドバイザーとして北海道立総合研究機構中央農業試験場の研究職員が参加して、地下かんがい等の省力化技術を活用した経営規模拡大への対応など、少し先の地域農業について地域農業者や関係機関の方と意見交換形式のパネルディスカッションを行った。

第3部では、地下かんがいに関するアンケート調査結果報告と、当局が作成し、今後配布する「石狩版 地下かんがいの手引き書」の内容について情報提供を行った。

これらの報告等を受け、参加者からは、「改めて、地下かんがいの効果と果たす役割について考えることができた」、「今後、配布される地下かんがいの仕組みや効果、利用方法等について記載している「石狩版 地下かんがい手引き書」に大きな期待を寄せているので、早く見て活用したい」といった感想が得られた。

当局の地下かんがい技術普及推進については、重点行動期間の最終年度を迎え終了となるが、地下かんがい機能の理解促進や広範囲な活用に向け、今後も、農業者のためにフォローアップしていきたいと考えている。

【北海道石狩振興局産業振興部調整課】